

令和6年度「小・中学生のふるさと学習作品展」表彰式 教育長あいさつ

令和6年11月9日（土）

愛媛県生涯学習センター

令和6年度「小・中学生のふるさと学習作品展」表彰式に当たり、主催者を代表して御挨拶申し上げます。

本日特別賞を受賞される皆さん、おめでとうございます。今回の受賞は、皆さんが熱心に調査・研究に取り組まれた努力の賜物であり、心からお祝いを申し上げます。

また、保護者・学校関係者の皆様におかれましても、それぞれのお立場で、作品の制作を通じた学びを御支援いただきましたことに対し、深く感謝申し上げます。

この「小・中学生のふるさと学習作品展」は、愛媛県にゆかりのある人物の業績や、身近な地域で活躍されている方々の生き方に目を向けることで、先人への感謝の気持ちや郷土を愛する心を育むことを願って毎年開催しており、多くの皆様に支えられ、今年度で22回目を迎えました。

校内での審査を経て各校から提出された作品は、それぞれに創意工夫が凝らされており、力作ぞろいでした。中でも、厳正な審査を通過し特別賞に選定されました26点の作品は、いずれも郷土にゆかりの深い人物を題材に、近隣の方々への聞き取りや文化遺産、社会教育施設への訪問など、自らの足で調査・研究に取り組むことによって、幅広い観点から考察し制作されたことがうかがえました。また、郷土への誇りと愛情が強く感じられ、主催者としても心強く思っております。

さて、今年の夏に開催された、パリパラリンピックでは、本県出身の水泳選手である山口尚秀（やまぐちなおひで）さんが直前の骨折を乗り越え、見事、銅メダルを獲得されました。パラリンピックでのメダル獲

得は、前回の東京パラリンピックの金メダル獲得に続いてのことでしたが、金メダリストとなった後も、競技への飽くなき探求心を持って、「水の抵抗を受けにくい泳ぎ方」を磨くなど、努力と研究を積み重ね、今回の偉業を達成されました。

皆さんも今回の調査・研究を通して、先人の功績について深く追求し、ふるさとに関係する新たな知識を得たことで、地域の生んだ先人の偉大さを再認識するとともに、自らの学習成果を伝える力を磨くことができたのではないのでしょうか。

どうか愛媛の未来の担い手である皆さんには、今後もふるさと愛媛について、主体的に学び、考え、行動して、愛媛で生まれ育ったことを誇りとして、明るく、愛顔(えがお)で、生き生きと過ごされることを強く願います。

終わりにになりましたが、今回の作品展に御協力をいただき、本日御臨席賜りました関係団体の皆様方に厚くお礼を申し上げ、開会の挨拶といたします。

受賞される皆さん、誠におめでとうございます。